

開発した花壇苗のPR活動をなんばパークスで実施

当所は、農林水産研究高度化事業「近畿圏の花とみどりを創出する環境適応性に優れた花き苗の開発」に参画し、共同研究を進めています。「なんばパークス」の来場者 238 人に開発した花壇苗を配布し、利用意向のアンケート調査を実施しました。配布した花壇苗は、ピートモスなどの培地素材をポリエステル繊維で固化（固化苗）しているため、ビニルポットが不要で、盛夏期の育苗でも蒸発熱で培地温が下げられ丈夫な苗ができます。京都府は、この培地を使って配布用のビオラ苗の栽培を担当しました。今後は、アンケート結果をもとに、この苗の実用性を高めていきたいと考えています。



アンケート実施風景



なんばパークスに飾花されたビオラの固化苗
(アンケート調査実施の前の週に定植)